

使徒言行録 7章 30節～38節。四十年たったとき、シナイ山に近い荒れ野において、柴の燃える炎の中で、天使がモーセの前に現れました。モーセは、この光景を見て驚きました。もっとよく見ようとして近づくと、主の声が聞こえました。『わたしは、あなたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である』と。モーセは恐れおののいて、それ以上見ようとはしませんでした。そのとき、主はこう仰せになりました。『履物を脱げ。あなたの立っている所は聖なる土地である。わたしは、エジプトにいるわたしの民の不幸を確かに見届け、また、その嘆きを聞いたので、彼らを救うために降って来た。さあ、今あなたをエジプトに遣わそう。』人々が、『だれが、お前を指導者や裁判官にしたのか』と言って拒んだこのモーセを、神は柴の中に現れた天使の手を通して、指導者また解放者としてお遣わしになったのです。この人がエジプトの地でも紅海でも、また四十年の間、荒れ野でも、不思議な業とするしを行って人々を導き出しました。このモーセがまた、イスラエルの子らにこう言いました。『神は、あなたがたの兄弟の中から、わたしのような預言者をあなたがたのために立てられる。』この人が荒れ野の集会において、シナイ山で彼に語りかけた天使とわたしたちの先祖との間に立って、命の言葉を受け、わたしたちに伝えてくれたのです。

ステファノの弁明はモーセによる出エジプトと律法授与の出来事を言及した。モーセが羊を追って、シナイ山に近い荒れ野に来た時、柴の燃える炎の中で、天使がモーセの前に現れた。この光景に驚いたモーセはもっとよく見ようとして近づくと、主の「わたしは、あなたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である」という声がした。モーセは恐れおののいて、見るができなかったが、主は「履物を脱げ。あなたの立っている所は聖なる土地である。わたしは、エジプトにいるわたしの民の不幸を確かに見届け、また、その嘆きを聞いたので、彼らを救うために降って来た。さあ、今あなたをエジプトに遣わそう」と言われた。同胞同志が争うのを見て仲裁した時、「だれが、お前を指導者や裁判官にしたのか」と言って拒んだ、頑ななイスラエルの民の中に、モーセは遣わされ、指導者また解放者として立てられた。モーセには神の圧倒的な力が付与された。幾多の奇跡を示すが、ファラオは出エジプトを拒み続ける。最後に、エジプト人の初子を撃つ「過越し」の事件で、解放を承諾せざるを得なくなった。出エジプトに成功し出発するが、紅海の海を前にして、追って来たエジプト軍に後を追われ、窮地に立つ。モーセは杖を高く上げ、海に手を差し伸べると、紅海は割れ、乾いた所を通して奇跡的に脱出できた。また、飢えた時、天からマナが降って来て、うずらも与えられた。渴いた時は、岩から水が流れ出て、渴きを潤した。40年間の荒れ野の旅において、神の不思議な業とするしに与り、神が与えると約束してくださるカナンを目指した。この間のモーセの苦難と忍耐は大変なものであったが、イスラエルを導き通した。

ステファノは申命記 18章 15節の「神は、あなたがたの兄弟の中から、わたしのような預言者をあなたがたのために立てられる」という言葉を主イエスに適用している。これは使徒言行録の著者の解釈である。ステファノは律法を守ることが命を保つという申命記の信仰を語り、自分は律法遵守する者だと弁明している。彼はモーセの出来事を語りながら、背後に、神と人間の間に立った主イエスの言葉に真の命があることを述べている。